

全員元気に、三学期をスタートしました！・・・充実した素晴らしい一年を目指して



○1月6日(木)の宮崎日日新聞に、本校商業科3年の福山彩香さんの「産まれたて ほやほや」という題の写真が掲載されました。新しい年を迎えたばかりのときに、産まれたばかりのかわいらしい赤ちゃんの写真を見て、明るい素晴らしい1年が過ごせそうな気がしました。また、秀峰の写真部が活躍していることを知り、嬉しく思ったところです。赤ちゃんの可能性は無限大です。秀峰生の可能性も無限大だと思います。一人ひとりが自らの可能性に大いに挑戦する「進歩の1年」であってほしいです。



小林市文化会館で、小林地区516人(男子250人、女子266人)の成人式が行なわれました。



成人式後、卒業生が来校しました

○5日(水)に行なわれた成人式での話の中に、「夢や希望」「自覚と責任」「感謝」などの言葉が多くありました。ところで、20歳を祝う成人式の半分に当たる10歳のときに「2分の1成人式」をする動きが、近年、小学校で広がっているそうです。保護者を招いて式典をする学校もあれば、先生が自分のクラスで、将来を見つめさせ、発表させるところもあるのだそうです。小林市内でも立志式と合わせて小中合同で行なうところもあるようです。 「自分を探る10歳の成人式」

○新年早々のある会合で、秀峰一期生の就職の面接試験を担当された方にお会いしました。その方から、「秀峰生の面接時の態度や受け答えは、他校と比較して、しっかりしていました。日頃の取り組みの成果でしょうね。」という話を聞き、嬉しく思いました。地道な努力が実を結ぶということです。

○面接試験の練習をされていて、気付いたことがあります。それは、生徒たちが意外に社会の状況について知らないということでした。そこで、・・・

○今年になって、気になったいくつかのニュースを紹介します。生徒たちに社会のいろいろな事柄に、日頃から興味関心を持ってほしいと思います。＜新年初めのインターネット情報より＞

☆念じれば伝わるシステム、この夏にも製品化・・・工業科、福祉科

・言葉や身体が不自由でも、念じるだけで意思を伝えることのできるシステムが製品化され、この夏にも、医療機器メーカーを通じて、50万円以下で販売される予定であることが分かった。

・システムは「ニューロコミュニケーター」と呼ばれ、身体や言語機能を使った意思伝達ができない患者(脊髄小脳変形症:推定患者数約2万人、多発性硬化症:同約1万人、脳卒中など国内で数十万人)を想定して開発された。

・患者は脳波が測定できる8つの電極がついた特殊な帽子(ヘッドキャップ)をかぶり、モニター画面に向き合う。頬に力を入れると電源が入り、画面に「飲食する」や「移動する」など複数の項目が順番に点滅する。選択したい項目が点滅するときに強く念じると、コンピューターが脳波の形状を読み取り、次の画面に進む。「移動する」→「洗面所」→「歯磨き」と念じる。

☆NY円、一時80円台・・・1か月半ぶり・・・全学科

・31日のニューヨーク外国為替市場は、円買い・ドル売りが進み、午後5時(日本時間1日午前7時)、前日比37銭円高・ドル安の1ドル=81円10~20銭と10営業日続伸して取引を終えた。(一時、1ドル=80円95銭:11月9日以来) 1ユーロ=108円45~55銭

☆穏やかな成長7割が予想・・・経営トップ調査・・・全学科

- ・読売新聞社は、主要企業30社の経営トップを対象に新春・景気アンケートを実施した。
- ・全体の7割にあたる21人が、2011年の実質経済成長率を「1.0%以上～1.5%未満」と回答し、穏やかながら2年連続のプラス成長が続くと見ていることが分かった。
- ・ただ、景気の現状については「足踏み（踊り場）状態にある」が25人と圧倒的で、09年春ごろから回復していた景気が一時的に停滞しているとの見方が大勢だった。
- ・その理由（複数回答）としては、10年夏以降に急激に進んだ「円高」と「米経済の先行き不透明感」が、いずれも17人で最も多く、「個人消費の低迷」が15人で続いた。円高や米経済の減速で輸出と生産が伸び悩み、エコカー補助金の終了など政策効果の減退で個人消費が伸び悩んでいる景気の現状への懸念が浮き彫りになった。

☆食料、新興国の胃袋へ・・・国内業界実質値上げ・・・農業科、商業科、経営情報科

- ・食料の国際価格が上昇している。中国や南米など新興国での需要が増えているためだ。
- ・コーヒー豆など値上げに踏み切る商品もある。だが、深刻な消費不況が続く中で、小売価格へ転嫁すれば、売り上げ減につながりかねないため、価格を変えないが、商品の内容量を減らす「実質値上げ」の動きが広がりそうだ。
- ・原価価格の上昇分は、内容量を若干減らす程度ではカバーできないため、利幅は減って、食品メーカーなどは業績を圧迫されそうだ。

☆ニーズに合わせ出荷量決定・・・農業科、商業科、経営情報科

- ・「作って売る」から「ニーズに応じて作る」へ。JA宮崎経済連が進めているブロッコリーなどの「産地開発」は、市場動向を調査して出荷量を決める新たな取り組みだ。
- ・ハウスを使わず生産コストが比較的安価なキャベツや白菜、ニンジン、白ネギ、スナックエンドウ、洋種かぼちゃ等8品目が対象。県内外の市場や量販店の需要を調べ求められる量を出荷。
- ・「値崩れしないので、農家も安心して栽培できる」「売れる値段が決まっているので、安定した収入が見込める」などのメリットがある。

☆光と熱、どちらからでも発電・・・新素材を開発・・・工業科

- ・光と熱（温度差）のどちらからでも電気を取り出せる発電素子を、富士通研究所が開発した。1種類の素材だけで光と熱の両方から発電できる装置は世界初という。
- ・体の状態をチェックする健康モニター等、24時間動く必要のある小型機器の電源として実用化
- ・素子の材料は、ポリ3ヘキシルチオフェンという有機化合物。光を受けたり、温度差が生じたりすると、電気を出す性質がある。プラスチックフィルム（縦4センチ、横5センチ）の上に、この化合物の膜を作り、フィルムを4枚つなげたところ、室内の光で1000分の1ワット、20～50度の温度差で1億分の1ワット程度の電力が発生した。

この冬もみんなを楽しませてくれた小林冬まつりのイルミネーションが撤収されました。



多くの方々の協力がありました

○8日（土）午前中、年末年始の小林駅を飾り、地域の方々の目を楽しませたイルミネーションを本校生徒・先生が、実行委員の方々と共に撤収しました。募金箱の中に、「小林工業高校卒業の娘の幸せを祈って、寄付しました」の心温まるメッセージがありました。



清掃も行ない、駅前がきれいに

祝！ ハンドボール県選抜大会 2年連続のアベック優勝



応援団の皆さんも盛り上がる

○8日（土）・9日（日）の2日間、綾てるはドームで行なわれた、県新人大会ベスト8による大会で、最後は、男子は日向高校、女子は宮崎学園高校に快勝し、九州大会出場権を獲得しました。男女とも全国大会を目指して頑張ってほしいと思います



キーパーも頑張りました。

☆女の子2人の「ナイスシュート○番、ガッツポーズ！」の声援がとてかわいかったです。